

評価項目	評価のポイント		配点	評価点数記載欄
1 基本事項	○ これまでの同業種実績等に基づき確実な履行が見込まれるか。 ○ 地方公共団体及び特別地方公共団体の防災アプリや防災システム構築・導入の実績はあるか。		5	
2 全体の実施運営	○ 業務を円滑に実施できる人員の確保・役割分担となっているか。 ○ 安全管理等についての必要な知識や技術等を有しているか。 ○ 事故等、緊急時の対応について必要な態勢が確保できているか。 ○ 適正な労働環境が確保でき、労働関係法令を遵守できる体制となっているか（公契約条例）。		5	
3 システムの構築	システムの操作性が高く職員の業務負担の軽減が期待できるか		5	
	導入時／導入後の職員負担は少ないか		5	
	保守や運用サポートは充実しているか		3	
	提案内容や業務工程が具体的か		5	
4 拡張性	提案されたシステムが車中泊避難場所以外の車中泊避難者の支援や車中泊避難以外の課題解決にもつながるか。入力された避難者の情報を他システムに転用し活用できるか。		5	
5 デザイン・操作性	市民が見やすい、使いやすい車中泊システムとなっているか。 自宅の被災状況や食事の必要性など被災者として必要な支援を市に連絡・回答しやすいようになっているか。		10	
	既存の本市のシステム（くまもとアプリ）と住み分けや連携の検討が出来ているか。		8	
	災害対策本部に勤務する職員誰もが見やすいデザイン、操作方法となっているか		10	
6 安定性	災害時にアクセスが集中した時に安定的に稼働できるような工夫がなされており、障害発生時や災害時の対応体制や通信が利用できない場合の代替運用や復旧後のデータ反映が具体的・実現的か。		4	
	提示されたセキュリティ要件をクリアし、利用者区分ごとの閲覧・編集権限の割り振りや操作記録の保管方法などが確立されており、安全・安定した運用が可能か。		3	
7 浸透性	本市に導入後、市民が継続的に使用し、活用される仕組みが構築されているか。		5	
8 業務の迅速性	提案されたシステムの導入時期が、委託者が提示する納期より早い期日で納品できるか。		2	
9 創意工夫	提案事業者のノウハウや知識、経験を生かした機能要件を超える創意工夫が見られ、業務効率化に繋がる提案となっているか。		5	
10 経済性	○ 見積書は予定価格の範囲内であるか。	提案者のうち最も低い見積額を満点とし、2位以下は1位との比率を用いる。（小数第2位で切り捨て）	5	
	○ ランニングコストは見合った価格か。 ※ランニングコストは令和9年4月から令和10年3月までの年額とする。	ランニングコストを見積額（年額）で比較する。最も低い見積額を満点とし、2位以下は1位との比率を用いる。（小数第2位で切り捨て）	5	
	○ 導入後の既存システムとの連携コスト		2	
11 公契約条例	熊本市の企業や事業者との取引を行うなど、熊本市の雇用創出に関する取組を行っている。		2	
	熊本県SDG s 登録事業者に登録したり、SDG s 達成に向けていずれかのゴールを設定したり、事業主として課題解決に取り組んでいる。		2	
	障がいのある方を雇用するなど多様な人材が活躍できる取組を行っている。		2	
	インターンシップや就職ガイダンスへの参加を行い、業界の次世代を支える担い手の育成などの取組を行っている。		2	
		合計	100	